

ふるさとの自然を体感
「夏を満喫～チョー気持ちいい！」

7/11 盈科小学校5年生の宿泊体験学習
(出合いの村・シーカヤック体験)

夏の議会だより

◇主な内容

- ・6月会議で決めたこと 2P～
- ・どえーな予算のあと? 4P～
- ・一般質問(8人が登壇) 10P～
- ・市民の声 15P
- ・議会だよりクイズ 16P

6月会議で決めたこと

◇13件もの専決処分

議会で議決すべき案件について議会を開催する暇がないとして市長が独断で行うことのできる専決処分が今定例会に13件報告された。その案件は損害賠償をはじめ、市条例の一部改正である。



Q 本市議会は通年議会制を励行している。議会を開催せず専決処分したのは遺憾。

議長 通年議会のメリットである行政執行の迅速化及び合理性が図られていない。今後は議会と協議しながら必要な処置をとるよう市長に対して文書で進言した。

A 市長 今回はいろいろと見解の相違もありながら専決にしたような点もあった。専決処分の取り扱いについて、議長から「通年議会であるから、議会に報告という形ではなく、極力、議案という形で出してほしい」と文書をいただいた。執行部として、その趣旨に沿って今後、研究をしていきたい。

◇市長等の給与の特例に関する条例制定

市長、副市長（県派遣の副市長は除く）、教育長の給料を平成25年7月から平成26年3月までの間10%減額するもの。

総務常任委員会は否決 市長は2月会議における職員給与減額の条例改正の審議の際、「以前の議員一般質問に対し、給与カットしないと明言したので、しない。」と答えておきながら、何故今回10%カットするのか。安易な給与カットではなく、職員給与・議員報酬をあわせ抜本的な改革をすべきであり減額の期間も短いと考え、条例制定に反対し否決する。

ちょっと一言



賛成討論 職員との信頼関係や社会情勢を鑑みると、市長等3役の給与カットは止むを得ないと考え、今回の議案提出は遅いながらも給与カットには賛成する。

◇市公営住宅等長寿命化計画の作成 →9ページに特集

議会基本条例により議会の議決事件と定めた行政計画のひとつ。

これまでの対症療法型の維持管理から、予防保全のための維持管理への転換を図るため、既存住宅全体の点検・修繕・改善を勘案し、今後10年間ににおける公営住宅の建替、維持管理計画を策定するもの。



Q 建替えなど住人の理解が必要であるが、いつの時点で説明会等を開催するか。

A 入居者には建替え時期のおおむね2、3年前に、入居者の意向などの調査や説明をしていく中で周知を図っていく。

Q この10年の計画の中で建替えは大久保住宅のみ。しかし建替えに対する住民の理解は得られない。何故なら現状は高齢者が多く、低家賃のまま一生をそこで終えたいからである。長寿命化計画ならばニーズに併せ床の修理等を優先すべきではないか。また、これからは若者向けに一戸建ての住宅で将来は自分所有となる払下げ住宅の建設をお願いしたい。自分の家ならば大事にするもの考える。

A プランは出来ているものの今後研究していきたい。

◇附属機関設置条例の一部改正

市長の附属機関として壱岐市景観計画策定委員会、教育委員会の附属機関として壱岐市小学校統廃合に関する検討委員会を設置するもの。



議会答弁中の市長

決めたこと

◎平成25年度 補正予算

当初予算の総額	311億5,346万3千円	
一般会計補正額	12億5,863万8千円	(6月会議提出)
//	9,367万7千円	(7月会議提出)
特別会計補正額	170万7千円	(6月会議提出)

6月会議で決めたこと

○平成25年度 会計別補正予算一覧

(単位：千円)

会 計 名	当初予算額	6月補正 予算額	7月補正 予算額	補正後予算額 合計
一 般 会 計	20,819,000	1,258,638	93,677	22,171,315
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	5,005,526		5,005,526
	後期高齢者医療事業特別会計	295,920		295,920
	介護保険事業特別会計	3,104,893		3,104,893
	簡易水道事業特別会計	800,841	1,707	802,548
	下水道事業特別会計	430,040		430,040
	特別養護老人ホーム事業特別会計	456,070		456,070
	三島航路事業特別会計	124,614		124,614
	農業機械銀行特別会計	116,559		116,559
	合 計	10,334,463	1,707	10,336,170
一般会計、特別会計の合計		31,153,463	1,260,345	32,507,485

※一般会計補正予算の使い分け（6月補正分）

歳 入		歳 出
財 源	金 額	主 な 使 い み ち
※ 1 地方交付税	5,195 万円	- 各種事業等 - 地域の元気臨時交付金事業（道路整備等） - 強い農業づくり交付金事業 - 学校施設等改修工事 - 海岸漂着ごみ撤去事業 - 住宅性能向上リフォーム支援 - 市道維持補修等 - コミュニティ助成金等 - 勝本地区公民館の施設設計及び解体工事費用等
※ 2 国庫支出金	7 億 6,930 万円	
※ 3 県支出金	8,424 万円	
※ 4 基金繰入金	1 億 8,000 万円	
※ 5 諸収入	1,405 万円	
※ 6 市債	1 億 5,910 万円	

- ※ 1 地方公共団体が必要な財源を国が補償するもので「使いみちが限定されない」一般財源。
- ※ 2 国が「使いみちを特定」して地方公共団体に負担金、補助金、委託金、交付金として支出する。
- ※ 3 県から市に交付されるもので、使い道が特定される負担金、補助金、委託金、交付金。
- ※ 4 住環境や福祉、教育など一定の目的のために積み立てた基金を各種整備に充てるもの。
- ※ 5 宝くじの社会貢献広報事業助成金などの諸収入。
- ※ 6 歳入不足を補うために発行する債券。(長期の借金)

契約の締結

○消防本部・消防署新築

建築工事 契 約 金 額 2 億 8,980 万円
 契約の相手方 (株)吉川建設
 代表取締役 吉川あやの

○消防救急デジタル無線システム

整備工事 契 約 金 額 4 億 498 万 5,000 円
 契約の相手方 日本無線(株)九州支社
 支社長 福山善文

○消防指令台整備

整備工事 契 約 金 額 1 億 4,700 万円
 契約の相手方 NEC ネットエスアイ(株)九州支店
 支店長 安藤勝則



消防本部・消防署新庁舎完成予想図
 (平成26年度末竣工予定)

『どえーな予算のあと？』



◎平成 25 年度 一般会計 (補正予算 1 号)

①「世界とつながる島に」

地域づくりアドバイザー事業 40万円

ICT街づくり推進リーダーとしてIT指導者を育成するための費用。

③「住民の集う場所」安全設計で

勝本地区公民館整備事業 6,000万円

昭和41年建設の築47年が経過する勝本地区公民館を2ヵ年で新築する。今回の予算は設計業務、調査業務及び解体費用。

②「お湯でほっこり、景色でにっこり」

湯ノ山公園整備事業 2,879万3千円

国民宿舎「壱岐島荘」に隣接し、湯ノ本湾を一望できる湯ノ山公園を整備して、風光明媚な景観を観光資源として活用する。市民の“癒しの場”としても期待できる。



公園整備される湯ノ山公園からの眺め (湯ノ本・壱岐島荘北側)

4 「おいしい米づくり」

強い農業づくり交付金事業
5億3,041万1千円

JA壱岐市ライスセンター（米の乾燥調製施設）2ヶ所を南部に統合し、施設老朽化による修復と、米の品種と受入形態が増加したための貯留ビンを増設する。



JA 壱岐市ライスセンター（芦辺町）

5 「芦辺中学校の校舎どうする？」

中学校校舎建設検討委員会設置
37万1千円

耐震工事ができない芦辺中学校の校舎建設について、調査・研究・協議のための検討委員13人（5回予定）の報酬。



生徒たちが今日も学び育む『芦辺中学校』

6 「安全な校舎で安心学習」

小学校耐震改修等事業 1億492万8千円

渡良小学校体育館（旧渡良中学校体育館転用）の耐震化、勝本・霞翠小学校体育館便所の水洗化、志原小学校が特別支援学級の増加と複式学級が単式となるため校舎を増築。

7 「小学校統廃合、検討はじまる」

小学校統廃合検討委員会設置
151万7千円

壱岐市立小学校18校、分校2校の統廃合について、調査・研究・協議を行う検討委員38人分（5回予定）の報酬。

8 「はざし唄」祝いでたの若松さまよ〜」

活力ある地域づくり（文化財保存）
165万5千円

市指定無形民俗文化財「はざし唄」を後世に伝え残すために記録保存用の映像制作を業務委託する。

9 「壱岐島ごっとり市場プロジェクト」

「がんばらんば長崎」地域づくり支援事業
667万6千円

壱岐の強み（食、歴史、文化、自然等）を最大限に活かした“島のこだわり”を、島民総ぐるみで作り上げ、観光客あふれる壱岐を実現するプロジェクトを観光連盟が主体で行う。

◎平成25年度 一般会計（補正予算2号）

10 「漁業者へ支援」

漁業用燃油高騰緊急対策事業 9,000万円

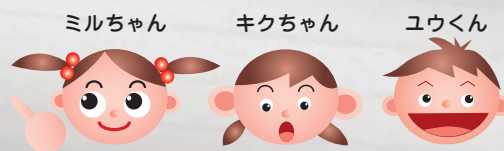
燃油高騰のあおりを受け、漁業者が出漁できない状況に陥っている。そのため、漁協正組合員に対し、漁業用燃油に対し1ℓあたり10円を補助するもの。

ちょっと一言



補助期限は平成26年3月末までとなっているが、それ以降も燃油高騰は続くと思われる。市の単独ばかりでは財政的に困難。国県にも働きかけて抜本的な対策を講ずるべき。

委員会レポート



☆各委員会の審査状況を報告します。

予算特別委員会

委員長：豊坂 敏文
副委員長：町田 正一
委員：全議員
(議長・オブザーバー)



普段の満潮時にも道路際まで潮が寄せる勝本地区公民館

平成 25 年度一般会計補正予算（第 1 号）について、6 月 17 日審査を行い原案可決とした。No. 審議内容は次のとおり。

Q 中学校校舎建設委員会のメンバーは。

A 芦辺中学校の校長・教頭、PTA 会長、芦辺町小学校区の各保護者代表、地域代表者の計 15 名。

Q 勝本地区公民館の建設について、外観と高潮対策はどうする。

A 現在の公民館用地に建設。外観は勝本浦地区街なみ環境整備に沿った外観とし、高潮対策も講ずる。

Q 住宅性能向上リフォーム支援事業の県市の区分は。

A 県の事業はバリアフリー、省エネ、防災化など住宅の性能向上が目的。市のリフォーム事業との併用は認められるが、重複はできない。

総務文教常任委員会

委員長：今西 菊乃
副委員長：久間 進
委員：中田 恭一、榊原 伸
小金丸益明、呼子 好



総務文教常任委員会メンバー

付託された議案 3 件を審議し、2 件可決、1 件を否決とし、要望 1 件を採択するものとした。

○吉崎市長等の給与の特例に関する条例の制定を否決。〔委員会意見〕市長は平成 23 年 6 月の一般質問の答弁で「市長給与の減額はしない」と明言した。厳しい財政状況の中、答弁を重要視し今



委員会の様子

日まで減額は行わず 1 年 3 か月が経過。その間、財政状況が極端に悪化した訳ではなく、今回提案をするのなら 2 期目当初に提案すべきであった。市長は揺るがぬ信念と責任を以て政策に取り組むべきである。交付税措置や職員との兼ね合いを考慮してと言うのであれば年度当初に提案すべきであり、途中提案は理解しがたい。

尚、平成 26 年度より合併算定替えに伴い交付税も段階的に削減される。職員・特別職の給与及び議員報酬は財政状況を鑑み抜本的な改定を検討をし、安易な削減はすべきではない。

○個別外部監査契約についての要望は採択すべきものとしたが、市は今年 4 月より顧問弁護士との「法律顧問契約」で対応できると思われる。この後の取り扱いについては「市長に一任」する。

厚生常任委員会

委員長：町田 正一
副委員長：市山 和幸
委員：鵜瀬 和博、豊坂 敏文
音嶋 正吾、久保田恒憲



厚生常任委員会メンバー



委員会の様子

本委員会に付託された議案は次の2件で、いずれも原案可決とした。

①福祉医療費の条例改正は、県の負担が3分の2から2分の1となり、その分が市の負担となり増額分を補正予算で措置している。

②箱崎中学校跡地一部の無償譲渡について、跡地を特別養護老人ホームに利用する事が決定し、社会福祉法人「博愛会」に無償譲渡するもの。これにより、北部地区の老人福祉の拠点が確保される。

委員会審査にあたり、市民部と保健環境部の役割が統一的に行政措置される必要がある。本庁舎建設を急ぐなり、部署の配置を改善するよう求めた。

今年度の特定検診は51.4%。地域によっては極端に受診率の低いところがあるので、早急な改善をされたい。



産業建設常任委員会

委員長：田原 輝男
副委員長：大久保洪昭
委員：牧永 護、瀬戸口和幸
深見 義輝、町田 光浩

当委員会に付託された3議案については、全て原案可決。「男嶽神社、女嶽神社観光スポット化に関する要望」については、現状に於ける市の財政は極めて厳しい状況にあり、現実的には難しいと判断し不採択とした。

また、2月会議より継続審査としている「旧箱崎中学校運動場埋設鉄管の取替えに関する請願」については、必要性は認めるものの、予算面等を考慮し、更に検討する余地があるため、引き続き継続審査とした。



産業建設常任委員会メンバー



委員会の様子

議案と審議結果一覧表

番号	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決結果	
報告 1	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告（5 件）	—	6/11	報告済
報告 2	市税条例の一部改正に係る専決処分の報告	—	6/11	報告済
報告 3	国民健康保険税条例の一部改正に係る専決処分の報告	—	6/11	報告済
報告 4	手数料条例の一部改正に係る専決処分の報告	—	6/11	報告済
報告 5	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定に係る専決処分の報告	—	6/11	報告済
報告 6	平成24年度一般会計補正予算（第 9 号）の専決処分の報告	—	6/11	報告済
報告 7	平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）の専決処分の報告	—	6/11	報告済
報告 8	平成24年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 5 号）の専決処分の報告	—	6/11	報告済
報告 9	平成24年度下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）の専決処分の報告	—	6/11	報告済
報告 10	平成24年度一般会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告	—	6/11	報告済
報告 11	平成24年度簡易水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告	—	6/11	報告済
報告 12	平成24年度下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書の報告	—	6/11	報告済
議案 1	消防本部・壱岐消防署新築工事（建築工事）請負契約の締結	—	6/5	可決
議案 2	消防救急デジタル無線システム整備工事請負契約の締結	—	6/5	可決
議案 3	消防指令台整備工事請負契約の締結	—	6/5	可決
議案 4	公営住宅等長寿命化計画の作成	産業建設	6/19	可決
議案 5	暴力団排除条例の一部改正	総務文教	6/19	可決
議案 6	附属機関設置条例の一部改正	総務文教	6/19	可決
議案 7	市長等の給与の特例に関する条例の制定	総務文教 否決	6/19	本会議 可決
議案 8	福祉医療費の支給に関する条例の一部改正	厚生	6/19	可決
議案 9	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更	産業建設	6/19	可決
議案 10	平成25年度一般会計補正予算（第 1 号）	予算特別	6/19	可決
議案 11	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	産業建設	6/19	可決
議案 12	損害賠償の額の決定	—	6/19	可決
議員発議 1	選挙公報の発行に関する条例制定	—	6/19	可決
議員発議 2	議会基本条例の一部改正	—	6/19	可決
議員発議 3	合併算定替終了後の新たな財政支援措置を求める意見書の提出	—	6/19	採択
要望 1	男嶽神社、女嶽神社観光スポット化に関する要望	産業建設	6/19	不採択

継続審査

請願 1	旧箱崎中学校運動場埋設鉄管の取替えに関する請願（2/1受理、3/5委員会付託分）	産業建設	（再・継続審査）	
要望 1	地方自治法第252条の43第1項「個別外部監査契約」（2/14受理、3/5委員会付託分）	総務文教	6/19	採択

7月会議

議案 1	平成25年度一般会計補正予算（第 2 号）	—	7/1	可決
------	-----------------------	---	-----	----

◇ 賛否（賛成、反対）のあった議案

○・・・賛成 ×・・・反対

議案名番号 （上記を参照）	久保田恒憲	呼子好	音嶋正吾	町田光浩	小金丸益明	深見義輝	町田正一	今西菊乃	市山和幸	田原輝男	豊坂敏文	鵜瀬和博	神原伸	久間進	大久保洪昭	瀬戸口和幸	牧永護	中田恭一	賛成	反対	結果
議案 2	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	1	可決
議案 3	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	1	可決
議案 7	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	9	9	議長判断可決

市山 繁議員は議長のため裁決には入りません。（但し、同数意見の場合は議長の判断となる。）

これからの市営住宅どうなる？ 公営住宅等長寿命化計画

(市営住宅の今後 10 年間における整備計画)

「吉崎市公営住宅等長寿命化計画」は、厳しい財政状況下における今後の管理計画を図るために各住宅の社会的需要、老朽度の判定、改修による費用対効果を総合的に勘案した上で、建替え、改善、修繕、用途廃止等を計画するもの。

(写真：芦辺町 大久保団地)

現在の市営住宅数 787 戸

内 訳	郷ノ浦町			勝 本 町			芦 辺 町			石 田 町		
公 営 住 宅	9 団地	37 棟	276 戸	7 団地	15 棟	132 戸	10 団地	41 棟	196 戸	8 団地	13 棟	128 戸
特公賃住宅					1 棟	6 戸		1 棟	8 戸			
単 独 住 宅	5 住宅	11 棟	29 戸	2 住宅	2 棟	7 戸	2 住宅	2 棟	5 戸			
計	14ヶ所	48 棟	305 戸	9ヶ所	18 棟	145 戸	12ヶ所	44 棟	209 戸	8ヶ所	13 棟	128 戸

公営住宅…住宅に困っている収入が低い方に賃貸するため、市が国の補助を受けて建設した住宅。

特公賃住宅…（特定公共賃貸住宅）住宅を必要とする方で中堅所得者層を入居対象とした公営住宅。

単独住宅…市が独自に建設管理する低所得者向け公営住宅で、入居基準は市条例で定める。

判定

- 1 次判定 建築経過年数、需要状況、改善履歴等による評価で住棟の建替え、用途廃止を判定
- 2 次判定 1 次判定で建替え、用途廃止にならなかった住棟を安全性、居住性などから更に判定
- 3 次判定 1 次 2 次判定の結果を踏まえ、総合的な検討による最終判定

判定結果	郷ノ浦	勝 本	芦 辺	石 田
用途廃止 新規入居を抑制し、住替えや払下げ等を検討	小崎団地 1 ～ 4 棟	山神団地 A ～ B 棟	田河住宅 (単独)	
	初瀬団地 1 ～ 4 棟	若宮福祉住宅 (単独)		
	古城住宅 (単独)	引揚者住宅 (単独)		
	初山東住宅			

判定結果	郷ノ浦	勝 本	芦 辺	石 田
建替え 適切な時期を見定めて建替えを検討していく団地	元居団地 1 ～ 4 棟		吉ヶ久保団地	旧中尾団地 A ～ E 棟
	三本松住宅 (単独)		八幡団地・安泊団地	
			大久保団地・瀬戸団地	
			緑ヶ丘団地・滝ノ上団地	
			芦辺吉ヶ久保住宅 (単独)	

市営住宅の状況は、古いもので公営住宅が昭和37年建設、単独住宅が昭和27年建設など、現在すでに耐用年数を経過する住宅が準耐火造平屋建等に226戸あり老朽化も著しい。住人に安全安心の生活を提供できるよう、入居者等の意向を聞きとりながら早急な整備が望まれる。

一般質問

8人が登壇



〈表紙シーカヤック体験の皆さん〉
片道30分シーカヤックを漕いで、無人島・アゼ島に上陸。
お弁当を食べて帰還しました。



町田 正一 議員

◎ 税の滞納対策

- ① 壱岐市の滞納額の状況。
- ② 徴収に対応している職員数と、どのような方針をもって徴収に当たっているか。
- ③ 3年前に伊万里市で導入

され、長崎県内でも5市2町で実施している「フィナンシャル・プランナー」を活用した生活改善に重点をおいた相談制度が効果をあげている。壱岐市でも導入を検討してはどうか。

▲ 滞納総額8億2千万円

市長

- ① 市税2億8,000万円、国民健康保険税3億1,900万円、介護保険料2,800万円、その他使用料等を含め全体で8億2,000万円。
- ② 壱岐市はすばらしい収納成績を上げている。10名の職員で対応、税の公平さと公正さが根本にある。
- ③ 県下で5市2町が導入している事は承知している。委託料も含めて検討したい。

◎ 漁業用燃油の高騰対策

円安がさらに加速され燃油がさらに高騰している。

1ℓ 95円では出漁できず、漁獲量でも27%の落ち

込みがある。

- ① A重油の価格の状況。
- ② セーフティネット対策と併せて、過疎債の活用はできないか。

▲ 漁業は深刻な状況

市長

- ① 1ℓあたり95円～100円と漁協によって差はあるが、高止まりしている状況。
- ② 漁民の方達が本当に喜んで出漁できるよう、組合長会とも話し合いをしたい。補正予算や過疎債の利用等を含め対応する。国のセーフティネットと合わせて補助の対応をしていきたい。



7月1日、漁船燃料への補助を決めました



町田 光浩 議員

◎ 農地で太陽光発電

これまで認められていなかった農地へのソーラーパネルの設置ができるようになった。農地の一時転用等に許可条件があるものの、耕作放棄地活用の可能性も考えられるので、早期の取組みを。

▲ 農水省の基準を待って検討

市長 あくまで営農優先だが、慎重に調査して関係機関と協議を進めていく。耕作放棄地については、管理上の問題が主要要因であり、活用は厳しいと思われる。

◎ 子ども達にタブレットを

教育用パソコン予算は未だに無駄がある。多面的な教育ツールとして提案もしていたが、検討の状況は。

▲ グローバルな教育も課題

教育長 現在の教育用パソコンは平成24年度に17校、25年度に5校が契約更新なので、向こう5年間は現状のままとする。より効果的な活用へ向けて校内研修等を行っている。

タブレットについては課内研修を通して協議しており、県の推進事業の成果を踏まえた上でさらに検討

討を深めていく。

◎ 観光事業の目標アップ

今年度の部局行動目標の中で「観光客・宿泊客実数の3%増」とある。国体等大型事業もあるので、もっと高い目標が必要。

▲ 実数を目標に

市長 沓崎市観光振興計画において、平成26年までの3年間に9%増という目標を掲げていることから、単年度では3%増の目標としている。ここでは実質的な観光振興を目指すために、特殊要因を省いた実数をシビアに検証していかなければいけないと考えている。



タブレット端末



呼子 好 議員

◎ 繁殖和牛の減少

沓岐の経済を支える繁殖牛が減少している。これ以上減ると子牛価格に波及する。

対策として若者が就農しやすい奨学金制度の導入、JA施設の拡充と支援、生産集団、オーナー制度の検討を。

▲ 新規参入を促す

市長 飼育農家の年齢構成は60歳以上が56%で後継者確保が必要と認識している。JA中心に組織を作り雇用の確保で繁殖経営は出来ないか、また新規和牛農家を育てる対策を講じていく。

◎ 市税の滞納額

- ①24年度市税・国民健康保険税の滞納額。
- ②差し押さえ品の売却の状況。
- ③給食費の古い未納額の状況。
- ④納税報償金は3年後には廃止するのか。

▲ 平成24年度市税の滞納3,726万円

市長

- ①個人市民税1,321万円、法人市民税126万円、固定資産税2,110万円、軽自動車税169万円。国民健康保険税は4,926万円。
- ②インターネットと地元での公売で、平成24年度は182点48万840円を税に充当。
- ③昭和55年度から平成22年度まで721万円（市給食

センター設立まで)、平成24年度は217万円。

- ④平成27年度から自治公民館納税活動等交付要綱を作成し交付する。

◎ NHK連続テレビ小説のロケ地

沓岐は、神社・寺・史跡・景勝地が多く、グルメの島である。交流人口の拡大と沓岐をアピールできる朝ドラのロケ地として、脚本家、NHKに対し誘致活動しては。

▲ メディア効果は抜群

市長 長崎、福岡のテレビ局等を訪問し沓岐を売り込む。150万人の福岡市民への情報発信にも努める。

◎ 学校跡地の売却

- ①校舎、運動場、テニスコート等の売却をするか。
- ②廃校跡地検討委員会の進捗状況は。

▲ 要望があれば検討

市長

- ①将来的に公共的な需要が見込まれない場合、民間による利活用が地域の発展や本市のまちづくりに寄与すると考えられる場合は売却などを検討する。
- ②行政財産から普通財産へ移管をされ、中学校跡地委員会は中原副市長をトップとして、協議をしている。





豊坂 敏文 議員

◎ 日韓トンネルの実現

日韓トンネルの構想は、2009年に両国首脳による合意がなされ、県内でも日韓トンネル推進長崎県民会議等が建設計画に向けた取り組みがされている。また、今年3月の対馬市議会では

早期建設を求める意見書も採択された。

▲ 壱岐が交流の拠点に

市長 両国の関係団体が建設に向け十数年来取り組んでいる。壱岐でも数か所の地質調査も実施されており、総延長235km 総工費8兆円とする壮大な計画。実現すると本市は交流拠点となる。関係自治体と連携していく。

◎ 漁業燃油対策は「今でしょ」

漁業経営セーフティネット構築事業に併用して、今が市独自の緊急対策として支援する時である。

この対策は、景気浮揚政策として、漁業者の要請に応じることは効果大きい。

▲ 早期対策化へ

市長 国の漁業経営セーフティネット構築事業等を活用して、直ちに「緊急対策」を検討する。

◎ 農業振興は

壱岐のアスパラは、昨年の売上額3億円を達成した。まだ伸びる。初期投資への支援策を。

畜産は6000頭の維持策として、更新施策と衛生予防、管理対策強化を図るべき。平成24年度の死亡牛は354頭、予防接種の義務化を。

▲ 初期投資へ支援

市長 ハウス施設10a当たり800万円かかる。その内、県と市が400万円助成し、残りは無利子の貸し付けをしている。畜産は月齢0月の死亡が231頭、個々で予防接種をしてほしい。

◎ 公共施設の下水整備

今回の補正予算で一部の改善計画があるが、プール、グラウンド、トイレについても下水整備すべき。

全校とも耐震補強工事と同時にやるべき。

▲ 接続を急ぐ

教育長 取り組む方向で経費等の面、配管工事の面等々検討している。



キャトルセンターでの子牛の予防注射



音嶋 正吾 議員

◎ 危機的経済

①あらゆる産業で景気低迷をしている。打開策はいかに。

②市内に貨幣が滞留するシステムが欠如している。公共事業の発注等、島内に本店を有しない事業所の参入が顕著に見受けられるなど、行政の取り組みにも問題あり。早急な改善を。

▲ 市内業者優先

市長

①一次産業である農水産業をはじめ、各分野ごとの事業を掘り起し、各関係機関に要望する。

②公共工事の発注を、市内業者に出来るものは市内発注優先に努めている。

◎ 透析設備の拡充を

平成20年11月25日、市民11,728名の署名を添え陳情書の提出がされたが、いまだ実現されていない。夜間透析、及び施設の拡充を求める。

▲ 全力で臨む

市長 市民病院の施設整備の必要性は認識している。本年4月から、向原総病院長をはじめ、6名の常勤医師に赴任していただいたが、人口透析の専門医は残念ながら含まれていない。壱岐の中核病院として透析のみならず全ての疾病について、市民病院内に設立した地域連携室を中心に民間病院と連携して、二次医療施設としての責務を果たしていきたい。



市民病院の透析室



久保田恒憲 議員

◎改正離島振興法の活用を

市長は全国離島振興協議会の会長である。杵岐市活性化の具体策を示すべき。

▲まず交付金事業から

市長 本年度は農業漁業の輸送コスト支援、及び離島

交流事業に交付金を活用する。交付金事業の拡大も国に要望している。

◎活性化は産業の連携で

農業・漁業・観光業等の連携で新しい取り組みはできないか。

▲提案を研究したい

市長 産業間の連携と6次産業の推進等に、杵岐ではまだ活用していない農山漁村活性化プロジェクト支援交付金が活用できるか研究する。

◎手を振るおもてなし

観光客に、歓迎の意味で手を振る市民運動に取り組もう。まず、子ども達から取り組ませては。

▲日常活動の延長として

教育長 市内の小中学校では目指す児童像、生徒像

を掲げ、挨拶にも取り組んでいる。教育活動の延長として指導していきたい。

◎防災訓練の充実を

5月に長崎県総合防災訓練が行われたが、市長の感想は。また、今後はボランティアコーディネーターの養成や防災ゲーム「避難所HUG」の活用等で訓練の充実を図るべきと思うが。

▲避難所運営ゲーム

市長 ボランティアコーディネーター、避難所運営ゲームHUGを勉強させてもらった。災害はいつどこで起こるか分らない。災害への対応力を深める上で今後の参考としたい。訓練には今後も力を入れたい。



県防災訓練の様子（5/19 郷ノ浦町）



鶴瀬 和博 議員

◎急げ、定住促進対策

①少子高齢化が進行し、平成47年には人口19,307人と推計。今後、定住人口の減少抑制と交流人口拡大の施策が重要。交流人口拡大は官民一体となり努力中だが、定住促進策は具体的な

方策がない。策定の進捗は。

②県、産業振興財団と連携、協力し、誘致企業の計画は。学校跡地活用を含めIT関連や輸送コスト助成などトップセールスによる企業誘致を。

③フリースポットによりインターネット環境は全国レベル。いい自然、交通環境なので作家などにスローライフの提案を。

④少子化対策はすぐに効果が出ない。早急に子育て環境整備を。出産祝い金の内容、支給方法などを見直し、充実すべき。

⑤マイナンバー制が平成29年より施行予定。マイナンバー制、テレビ電話活用法など早急に研究すべき。

▲最重要課題と認識

市長

①部長会等で検討中だが、特効薬となる具体的な施

策、制度設計に至ってない。新しい産業の創設や雇用の場の確保に努め、人口減少に歯どめをかけたい。

②県、財団と連携し、IT関連企業や軽量高付加価値の製造企業の誘致を検討中。今後も離島運賃、輸送全体にわたる料金低減化を目指していく。

③スローライフを提案する環境は整ったので杵岐の魅力のひとつとして情報発信し、スローライフを求める方々の活動の拠点となるよう努力する。

④幼保連携子育て支援検討委員会の中でも出産祝い

金のあり方、保育料の低減化を含め子育て環境の整備、充実等全般において今後討議を進める。
⑤平成29年の実用化までにメリット、デメリットを十分研究検討した上で導入していく。



子どもを産み育てやすい島に



今西 菊乃 議員

◎ 自主防災訓練

今は何時、何処で、どんな災害が起きようと不思議ではない。

「災害犠牲者」「人的災害」を出さない為には日頃より防災訓練が必要である。市民は行政や他人をあてにせず「自分の生命は自分で守る」と意識を持つことが大事である。また、災害時要援護者の避難について、自治公民館単位で自主防



自主防災組織の活動備品

災組織を設立し自主防災訓練を行うべきではないか。

▲ 指導していく

市長 現在26組織が設立されている。また、石田町で1組織設立に向け立ち上がっている。

設立には自主防災組織で行わなければならない防災計画、避難訓練など諸計画が必要であるが、そこまでの指導は出来ていない。組織の設立と内容の充実を合わせて指導していく。

◎ 高齢者福祉

高齢化率32.8%と超高齢社会となっている。高齢者独居世帯も増加し孤独死をする人も出てきている。公的機関・社会福祉協議会だけでは対応が追いつかない状況になってくる。近隣の人で対応できる、声掛け・見回りの「ちょこっとボランティア」と行政・民生委員とのネットワークは出来ないものか。

▲ 対策に取り組む

市長 防災・見守り等のネットワーク化は必要である。市民の意見や協力が必要となる。問題も出てくると思われるので時間もかかるが取り組んでいく。

議員発議

条例制定

選挙公報の発行

公職選挙法第172条の2の規定に基づき、壱岐市議会議員及び壱岐市長の選挙における候補者の政見等を市民に周知するため、選挙公報を発行するための条例を制定した。

市選挙管理委員会は候補者の氏名、経歴、政見、写真等を掲載した選挙公報を選挙毎に1回発行し、市内有権者の属する世帯に対し選挙期日の前日までに配布するよう定めた。

7月21日の壱岐市議会議員一般選挙より適用とし、市議選の立候補者説明会に出席した候補者全員で、各々がこれまで印刷郵送していた選挙運動用ハガキを出さない事を申し合わせた。

選挙運動用ハガキは公職選挙法で規定されたもので、市議会議員選挙では候補者一人当たり2,000枚分のハガキ郵送代が公費負担となっていたため、公費支出を最小限に抑えることと、志のある誰もが立候補しやすい環境をつくることを目的としている。

意見書の送付

合併算定替終了後の新たな財政支援措置を求める意見書

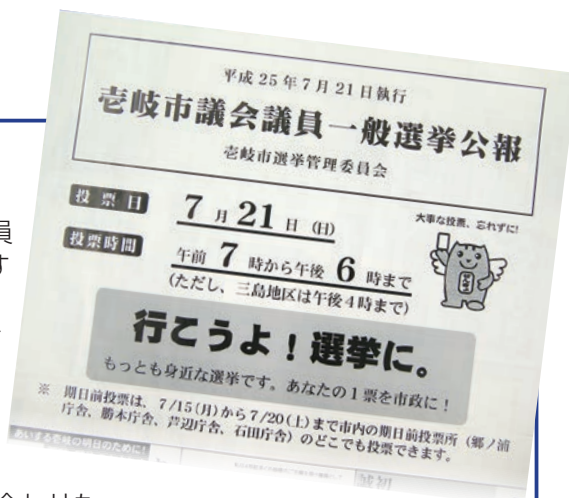
全国的に国策として推進された、平成の大合併により、長崎県内の市町村数は、合併前の79市町村から21市町に再編され、市町村数の減少率73.4%と全国で最も合併が進んだ県であり、本市においても、平成16年3月1日に4町で合併したところである。

合併市町が今後も一体となって住民サービスを維持し、将来のまちづくりが力強く推進できるよう、合併団体であるが故に削減できない財政需要や新たな財政需要に対応したきめ細かい補正等の創設を行うことにより、合併算定替の終了によって捻出される財源の相当額を合併市町村に還元すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

長崎県壱岐市議会

内閣総理大臣外関係機関に送付した。



市民の 声



議会だよりクイズの応募の中で
お寄せいただいた
ご意見ご感想を
ご紹介します。

郷ノ浦
祇園山笠

Photo 壱岐しま “夏風情”

壱岐の活性化
につながる議論の
場であることを希
望いたします。
83歳

老後の事が心配
です。少しの牛と農
業で生活していますが、
年をとって働けなくな
ったと思っています。
62歳

市内にある各公
園の安全点検などは、
どのくらいの頻度で行わ
れていますか？ 結構危険
な所、壊れている箇所が
あります。ぜひこまめに安
全対策をお願いしたい
です。 29歳

私は3カ月に一
度福岡の病院に通院
しています。今後の市民
病院に変化があれば地元
で通院したいと思います。
船代も大変です
から。 57歳

ダイビング
(錦浜)

市内あちらこちら
の商店街でシャッターの
閉まった店舗を多くみかけま
す。淋しいものです。何か活性
化する方法はないものでしょう
か。このままでは壱岐市は若者
のいない島になってしまいそ
うです。子どもに「帰って
来い」とは言えません。
48歳

島外からもっと人
がきてもらえる様なPRが
少ない気がします。空家など
は高齢者の方だけでなく、島外
に住んでいる島出身の方にも貸
して頂けると助かります。長崎
さるく博の様に各観光場所に
ボランティアがいるといい
なあとと思います。
47歳

避難施設って意外
と知られていないので
は？ 体の不自由な方の避難
対策などもっと踏み込んだ話し
合いがなされるべきと思う。あと、
女性議員が一人と少ないような
ので、もう少し増えて女性の意
見も反映されるようになれ
ばいいと思う。 25歳

海の
安全祈願



第17回クイズの答え

①68 ②地域おこし ③20

応募総数16人で全員が全問正解です。
ご応募ありがとうございました。

～ 第17回クイズの当選者 ～

久原智恵子様 山内好江様
横山ヒデ子様 川谷美子様
大久保勝子様(順不同)

おめでとうございます！

クイズに答えて

図書カード(1,000円)
が当たります。皆さんの
ご応募待ってま～す!!

クイズ

「次の問題に答えよう」

○に当てはまる言葉は何か？

- その①** 公園整備が決まった、湯ノ本湾を一望で
きる公園は○○○公園。
- その②** 新しい附属機関は、景観計画策定委員会
と、○○○○○○○に関する検討委員会。
- その③** 燃油高騰による漁業者支援として、1 ㉒
○○円を補助。



ヒント

この議会だよりの中に答えがあり
ますので、最初から最後まで良く
読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだ感想や、市政へのご意見・ご要望
などもお書き添えください。

ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円
分をお贈りします。

(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521

長崎県市議会事務局 宛

長崎県市議会事務局 宛

《しめきり》平成25年8月31日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の
目的以外には利用いたしません。

編集後記

●現体制での最後の議会だより。議事を身近に感
じてもらえるように心がけました。第38号発行
が選挙後になったのが悔やまれます。町田 光浩

●委員長まかせで消極的な広報副委員長だったの
で後悔が残る2年間でした。もし次期も機会を頂
ければ積極的に働く覚悟です。久保田恒憲

●議会の新陣容も決まりました。執行部と一体と
なり、市民に変革が実感出来る市政の遂行に努め
たいものです。瀬戸口和幸

●この議会だよりが皆様のお手元に届く頃には、
市議会も新メンバーの顔が揃っている頃です。
市議会発展を望み切磋琢磨すべし。榊原 伸

●「散りぬべき 刻知りてこそ 世の中の 花は花な
れ 人は人なれ」4年間広報委員として活動でき
た事をありがたく思います。町田 正一

●朝ドラ(あまちゃん)の背景には後継者不足・
地域づくり・伝統技術の継承など、田舎が抱える
現代的テーマがある。呼子 好

お知らせ

市議会ホームページ



<http://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会の
インデックス(見出し)を検索すると、市長行
政報告および議員の一般質問の音声を生で聞く
ことができます。また市議会会議録は、議事
事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活
班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・
見舞い等の金品を送ることや、
暑中見舞い・年賀状などの挨拶
状や有料の広告は禁止されて
おります。

市民みなさまのご理解とご
協力をお願い申し上げます。

市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県市議会事務局 宛

TEL: 0920-42-1111

FAX: 0920-42-0096

【E-mail】iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】<http://www.city.iki.nagasaki.jp>

市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。